

「第2次川崎市情報化基本計画・情報化実施計画」

—お互いの心が通う高度情報化都市かわさきを目指して—

(概要版)

川 崎 市

計画策定の趣旨

様々な人、ものがあらゆる場面でつながるユビキタス社会の到来に向けて
ITの基盤整備から、ITによる情報共有・利活用へと視点を移して

⇒ 新たな情報化の段階に対応した第2次川崎市情報化基本計画を策定

計画の概要

「第2次川崎市情報化基本計画」

⇒平成18年度から10年程度を見据えた計画

（情報通信技術や社会環境の変化を考慮し、5年程度を目安に方向性の確認）

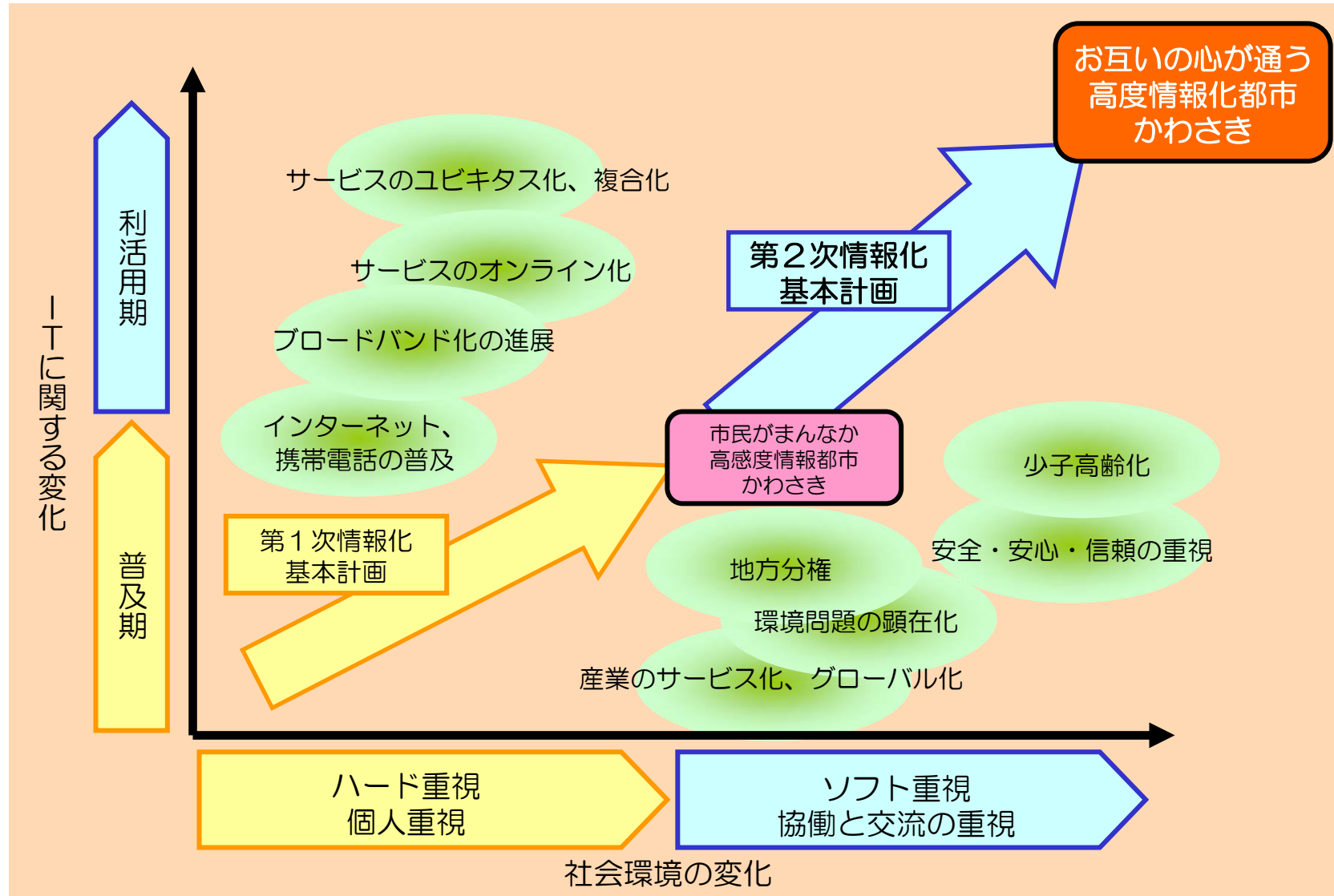
⇒新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」と連携

「川崎市情報化実施計画」

⇒「第2次川崎市情報化基本計画」を具体的に推進するため、3年程度を目安に着手を予定している施策を掲げた計画

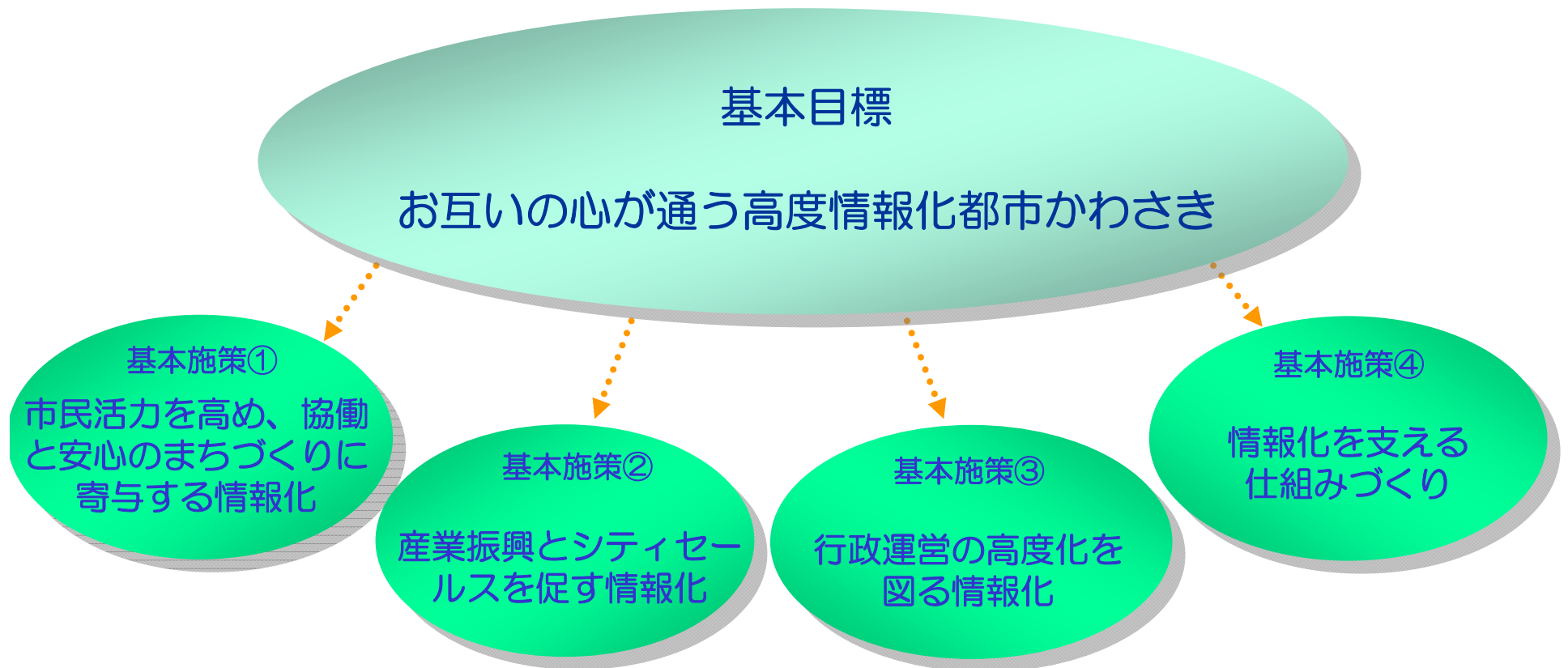
川崎再生フロンティアプラン第2期実行計画（平成20年度～平成22年度計画）と整合性を図るため、平成20年5月に情報化実施計画を改訂し、計画期間を平成22年度までの5カ年に変更

川崎市が目指す情報化



計画の基本施策

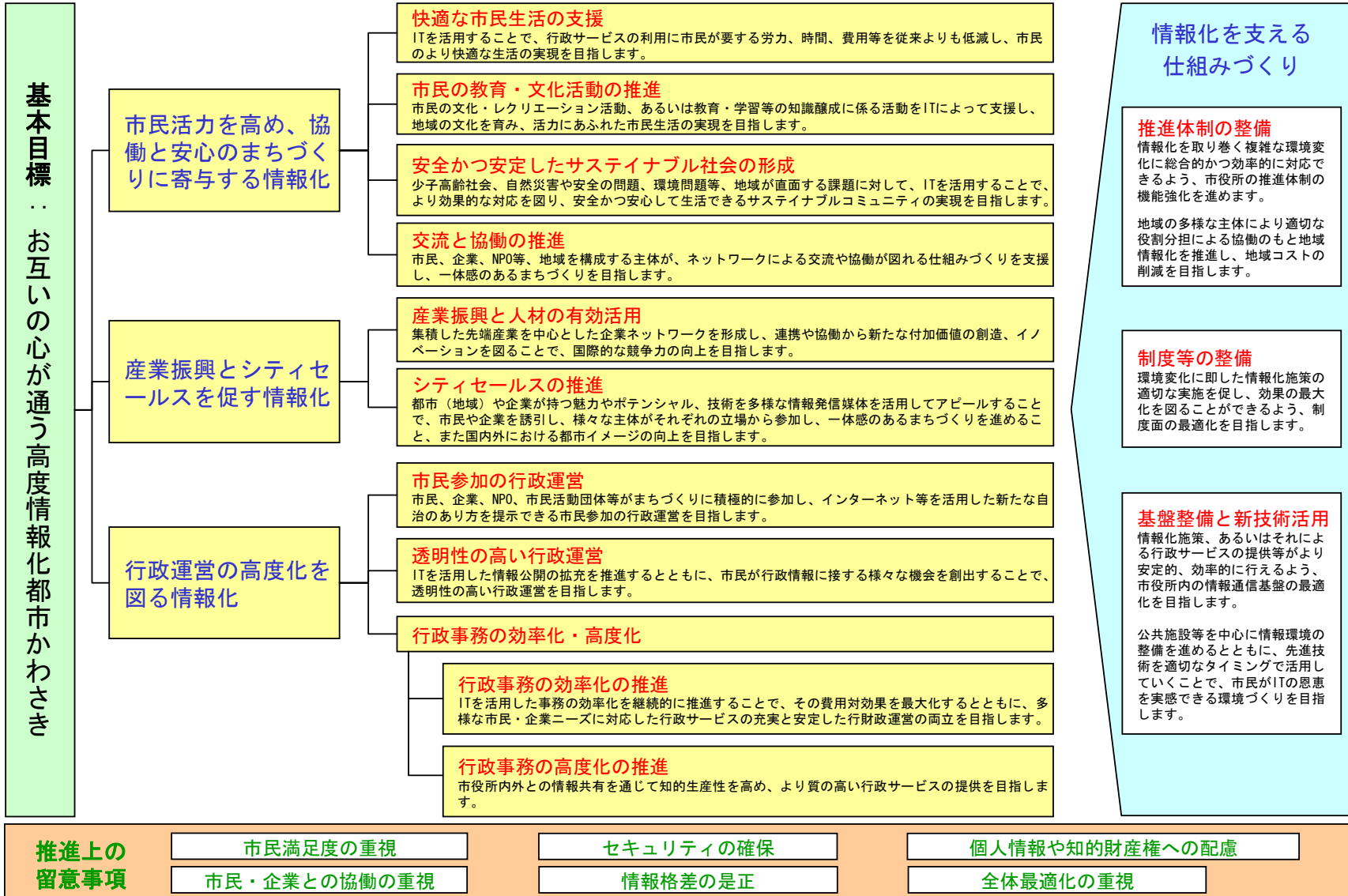
第2次川崎市情報化基本計画では、川崎市の持つポテンシャルが活かされる、快適で安心な「お互いの心が通う高度情報化都市かわさき」を実現するために、4つの基本施策に基づき情報化施策の推進を図ります。



基本計画の体系

基本施策

施策の基本方向



情報化実施計画が目指す4つの基本施策とそれを実現する具体的な情報化施策

基本施策

市民活力を高め、協働と安心のまちづくりを導く情報化

基本方向

快適な市民生活の支援

電子行政サービスを進め、快適な生活の実現を目指します。

教育・文化活動の推進

学校のIT環境の整備や、市民の生涯学習の活動をITによって支援します。

安全で安定した持続的社会的形成

自然災害や安全、環境などにおける地域での課題に対し、ITを活用して効果的な対応を図ります。

交流と協働の推進

市民、企業、NPOなどがITネットワークを通じて交流や協働が図れる仕組みづくりを行います。

主な情報化施策

電子申請システムの拡充

図書館総合システムの整備

学校のIT環境の充実

総合的な防災システムの整備

消防指令システムの拡充

地域ポータルサイトの拡充

基本施策

行政運営の高度化を図る情報化

基本方向

市民参加の行政運営

市民、企業や市民活動団体などがインターネット等を活用して積極的に市政に参加できる仕組みを整備します。

透明性の高い行政運営

ITを活用した情報公開や情報提供の拡充を図ります。

行政事務の効率化・高度化

市役所全体の情報システムの最適化の視点から、ITを活用した行政事務の効率化を進めるとともに、市役所内の情報共有や新技術の活用を進めることにより、行政事務の高度化を図ります。

主な情報化施策

総合コンタクトセンターの業務拡大

川崎市ホームページの充実

人事給与制度改革に合わせた情報システムの整備

公有財産管理システムの再構築

川崎病院と井田病院における新総合医療情報システムの整備

産業振興とシティセールスを促す情報化

産業振興と人材の有効活用

川崎市の優れた産業技術をホームページ等を活用して内外に発信し、国際競争力の向上を図るとともに、企業の誘致を進めます。

川崎市の地域の特性を活かしながら生活文化産業の振興・育成等をITを活用して行います。

シティセールスの推進

川崎市の有する文化芸術資源や観光資源をホームページ等を活用して、内外に発信し、川崎市の魅力をアピールします。

環境技術や産業技術など、川崎市のポテンシャルを発信し、都市イメージの向上を図ります。

インターネットを活用したコンテンツ産業の振興

民間事業者と連携したインターネットによる動画情報等の発信

地上デジタル放送の活用

インターネットを通じた文化芸術資源の情報発信

産業観光など、観光情報の発信

情報化を支える仕組みづくり

推進体制の整備

市役所内における情報化を推進するための体制の強化を進めるとともに、地域の多様な主体と連携し、地域の情報化を進めます。

制度等の整備

情報化施策の適切な実施を促すために必要な制度等の整備・拡充を進めます。

基盤整備と新技術活用

ITを活用して行政サービスを効果的に提供するために必要な基盤整備を進めるとともに、先進技術の活用について検討を進めます。

情報システム全体最適化への取組

情報セキュリティ対策の実施

電子行政サービスを支える情報環境の整備

消防・救急無線や防災行政無線のデジタル化

情報化施策の推進によって目指す高度情報化都市のイメージ

